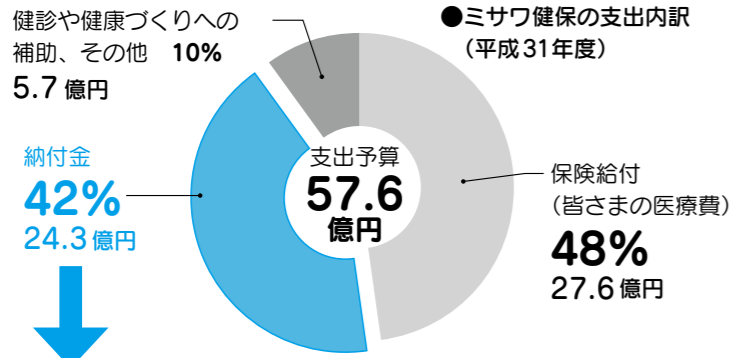


ミサワ健保の納付金はいくら？



前期高齢者納付金 全国の65～74歳の方の医療費に使われます。

ミサワ健保の前期高齢者医療費 1.6 億円 × 加入調整率 $\frac{7}{1}$ = 前期高齢者納付金 11 億円

Point!

ミサワ健保に加入する前期高齢者の医療費が減れば、前期高齢者納付金が減らせる可能性があります。

後期高齢者支援金 全国の75歳以上の方の医療費に使われます。

ミサワ健保の標準報酬総額 (給与+賞与) 586 億円 × 拠出率 2.3% = 後期高齢者支援金 13 億円

Point!

後期高齢者支援金にはインセンティブ・ペナルティのしくみがあります！
特定健診の受診率、特定保健指導の実施率、ジェネリック医薬品の切替率などが支援金の額に影響します！

皆とまが負担している健康保険料の約半分は、「高齢者の医療費」の支払いに使われています！

急速に進む日本の高齢化により増加し続ける「全国の高齢者の医療費」を、健保組合は「納付金」として国へ納めています。納付金の額はミサワ健保の支出の4割以上を占め、この負担金がミサワ健保の財政に大きく影響し、保険料率を引き上げる要因となっています。

納付金には、ミサワ健保に加入する前期高齢者(65～74歳)の医療費と加入調整率から計算される「前期高齢者納付金」と、75歳以上の人が加入する後期高齢者医療制度の財源の一部となる「後期高齢者支援金」があります。

森下理事長に聞く！ ミサワ健保の現況 ～介護保険料率を引き上げました～

平成31年度、健康保険は、保険料収入だけでは財源不足となりますが、積立金を取り崩して補填することで保険料率を据え置きといたしました。

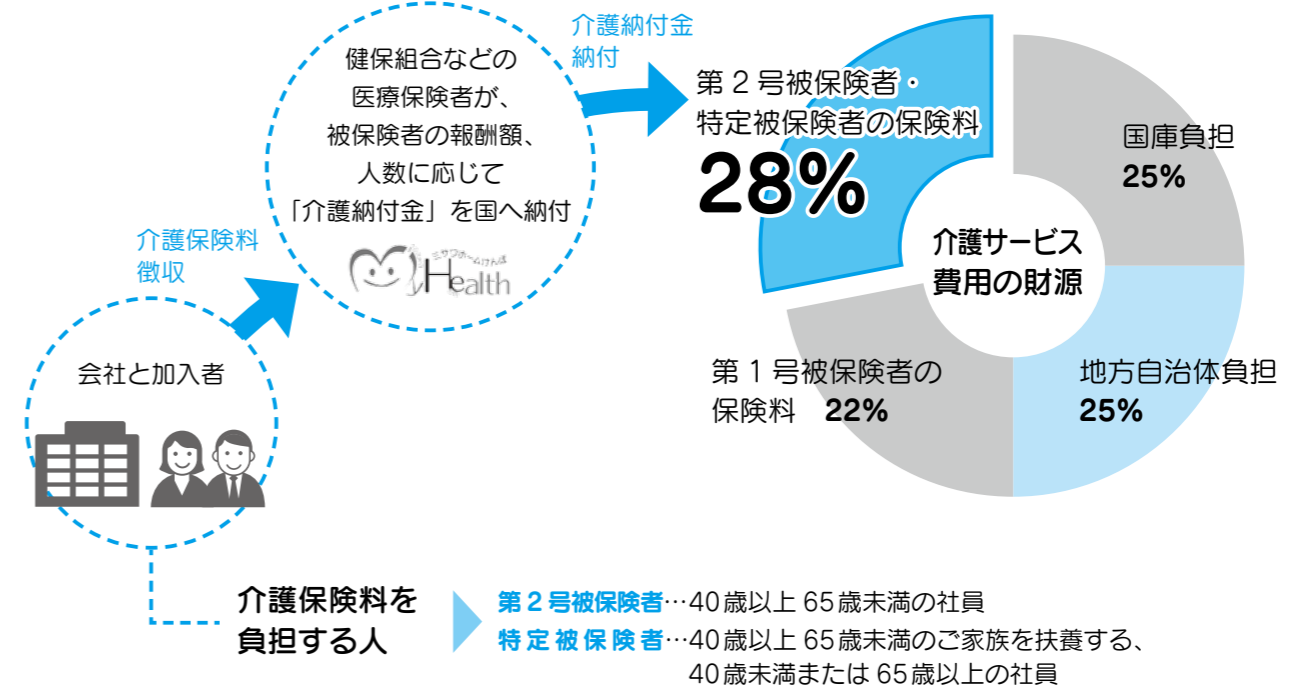
一方、介護保険は、保険料収入の財源不足を積立金からの補填で賄いきれず、保険料率を引き上げることとなりました。ミサワ健保では、介護納付金の財源確保が可能な料率設定となるよう、料率を毎年見直す方針としております。

●ミサワ健保の保険料率

	平成30年度	平成31年度	増減
健康保険	9.50%	9.50%	+0.00%
介護保険	1.40%	1.56%	+0.16%
合計	10.90%	11.06%	+0.16%

介護保険料は、「介護サービスの財源」です

全国の介護サービス費用は、健保組合などが「介護納付金」として国に納める介護保険料を財源とします。高齢化に伴う介護サービス利用者の増加から介護納付金は年々増えていますが、この中で健保組合の役割は、介護納付金を賄えるだけの保険料を会社と加入者から徴収し、国へ納めるだけとされており、



しかし！

実は、皆さまの力で「納付金」を減らすことができます！ご協力をお願いします！

そこで、皆さまが今からできること

ミサワ健保の事業を利用して医療費抑制！

▼健診の受診

▼健康相談や保健指導の活用

など、皆さまの健康管理が医療費を抑制することにつながります！



□ 次のページで健診・保健指導について理解を深めよう！